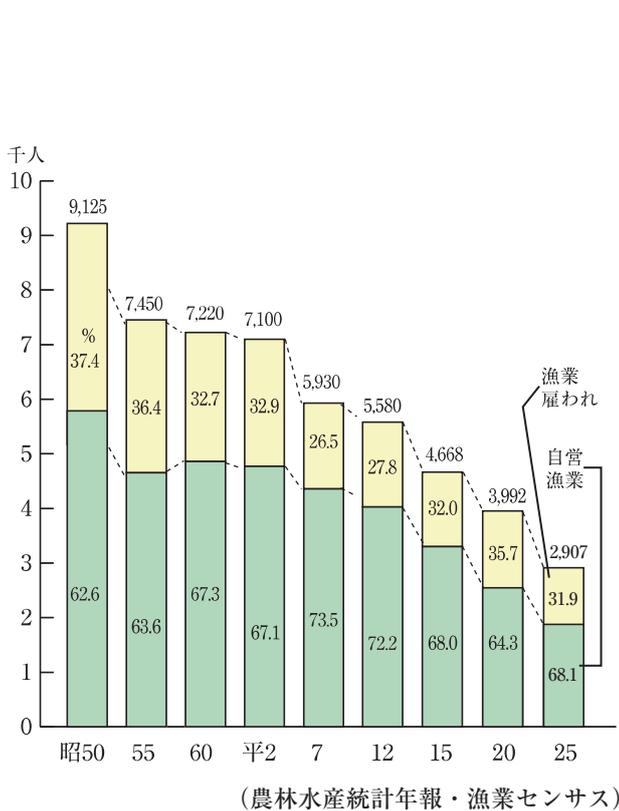


# 3 水産部門

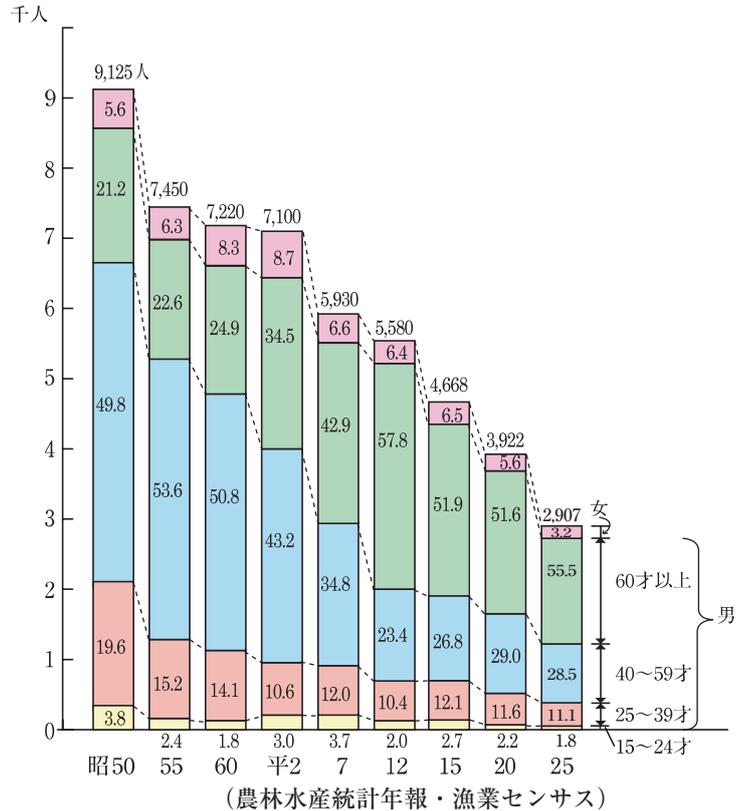
## 1) 水産業を担う人々

漁業就業者数は減少傾向で推移しており、平成25年は2,907人である。  
 また、自営漁業就業者のうち年齢別では60才以上の男子就業者が55.5%を占め、高齢化が進んでいる。

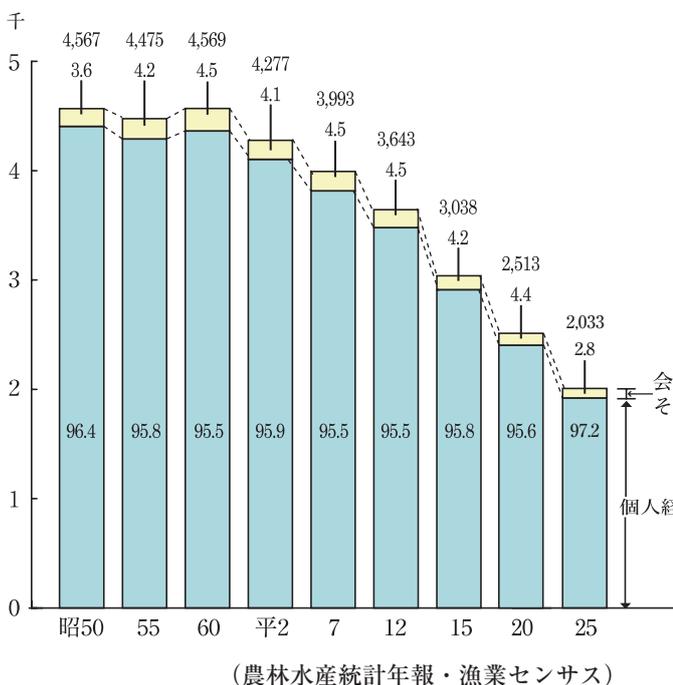
漁業就業者数の推移



年齢区分別漁業就業者数の推移



漁業経営体数の推移



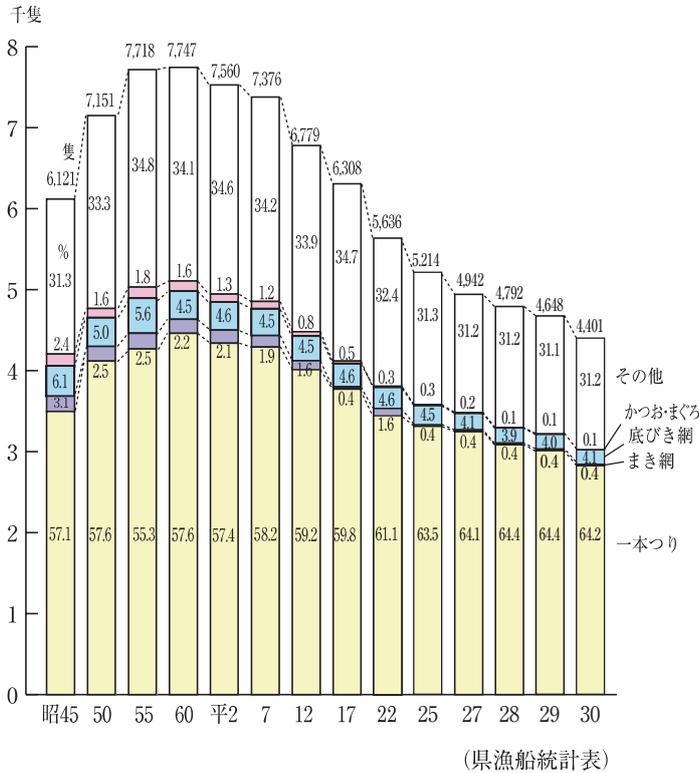
| 〔平25〕     | 全国      | 和歌山県  |    | 1位     | 2位  | 3位 |    |
|-----------|---------|-------|----|--------|-----|----|----|
|           | 実数      | 実数    | 順位 | シェア(%) | 県名  | 県名 | 県名 |
| 漁業経営体数    | 94,507  | 2,033 | 20 | 2.2    | 北海道 | 長崎 | 青森 |
| 漁業就業者数(人) | 180,985 | 2,907 | 23 | 1.6    | 北海道 | 長崎 | 青森 |

(2013年漁業センサス)

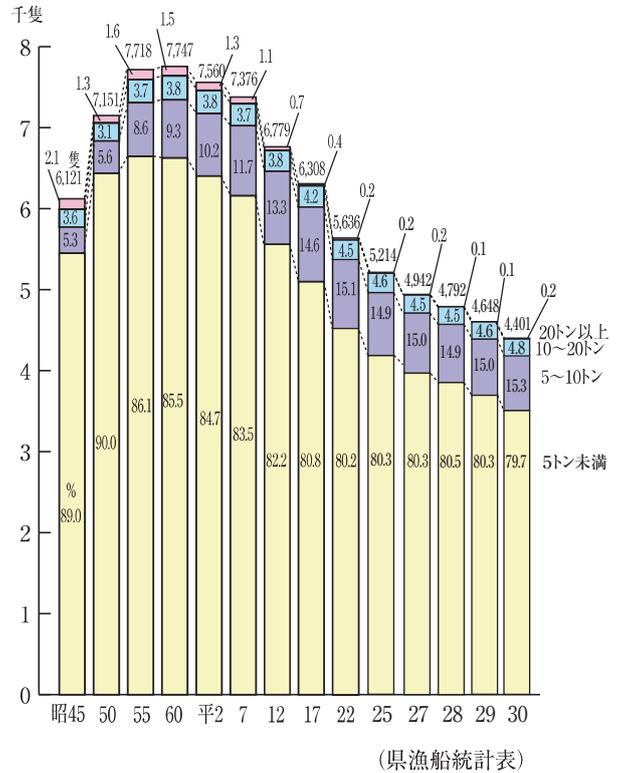
## 2) 水産業の基盤

海水動力漁船数は昭和60年をピークに減少傾向にあり、平成30年12月末日現在では4,401隻となっている。漁業種類別では「一本釣り」が64.2%、「底びき網」4.1%である。トン数別では5t未満の小型漁船が79.7%と大半を占めている。

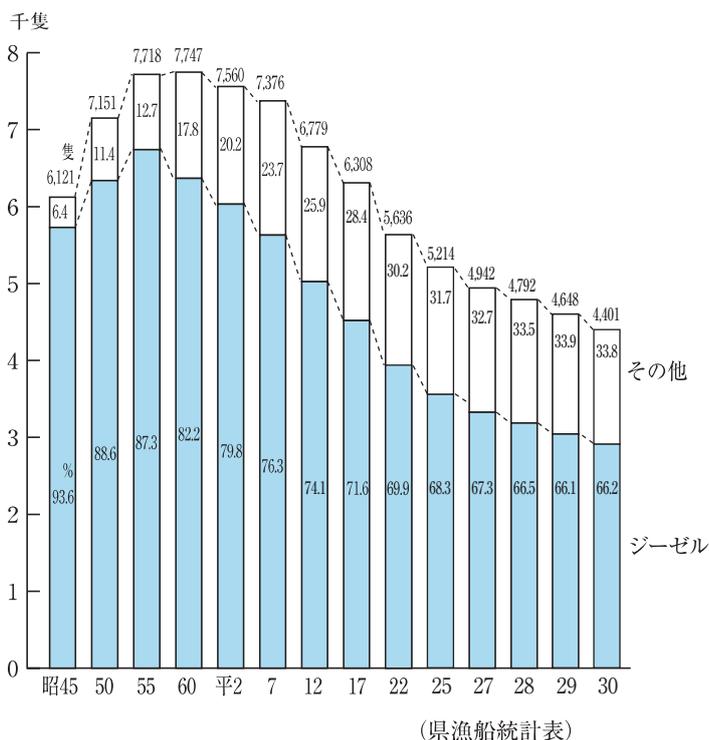
漁業種類別海水動力漁船数の推移



トン数階層別海水動力漁船数の推移



機関種類別海水動力漁船数の推移



漁港の現況

本県には、94港（全国2,823港）の漁港（平成30年4月1日現在）と、118地区（全国4,115地区）の漁港背後集落（平成29年度末時点）がある。また、漁港の種類は、その利用範囲によって下表のように分類されている。

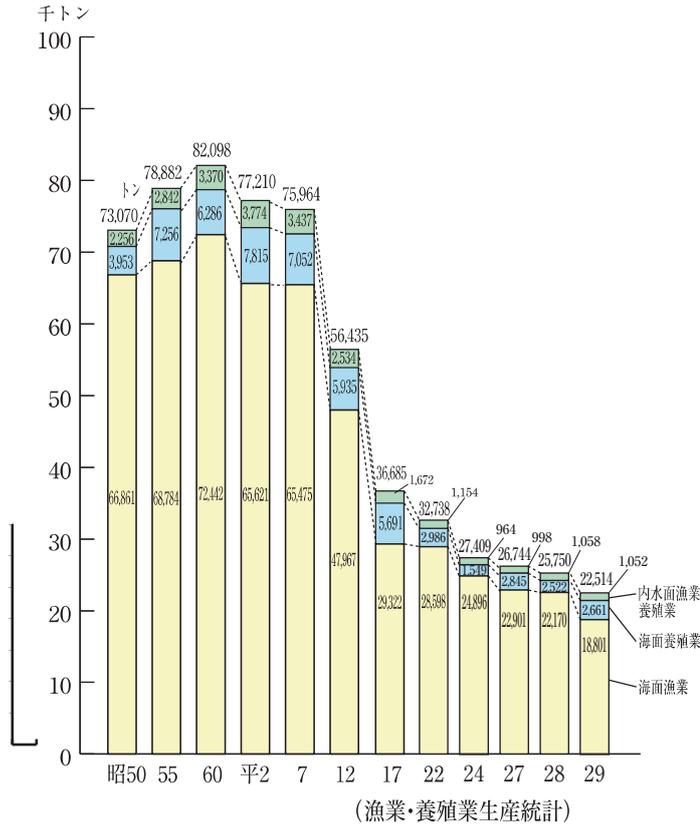
| 種別    | 漁港合計 | 分類の説明                |
|-------|------|----------------------|
| 第1種漁港 | 77   | 利用範囲が地元の漁業を主とするもの    |
| 第2種漁港 | 11   | 利用範囲が1種より広く3種に属さないもの |
| 第3種漁港 | 4    | 利用範囲が全国的なもの          |
| 第4種漁港 | 2    | 漁船の避難上特に必要なもの        |
| 港合計   | 94   |                      |

### 3) 水産業の生産

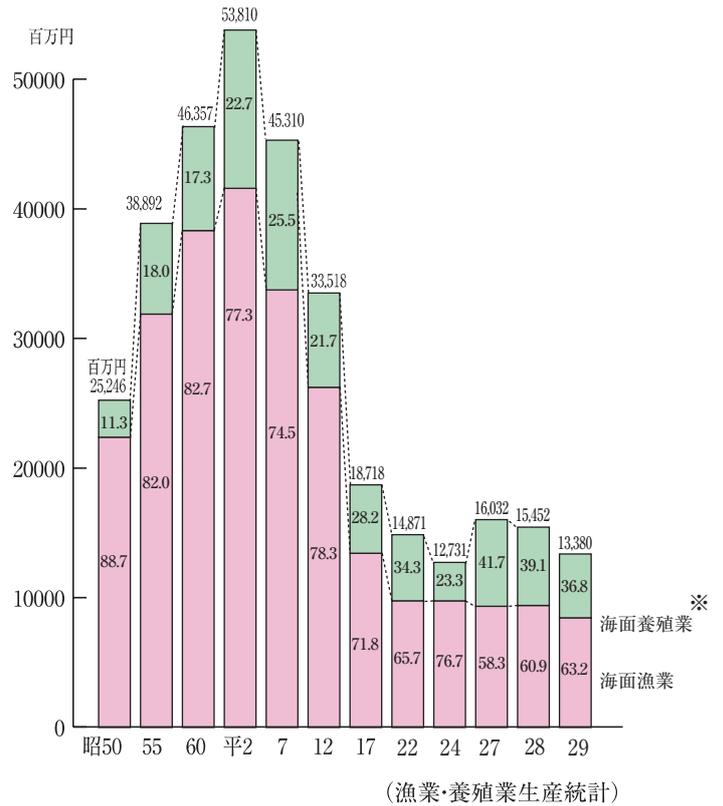
漁業・養殖業の生産量は昭和61年の88,108tをピークに減少傾向にあり、平成29年は22,514tとなっている。

海面漁業・養殖業産出額は平成2年をピークに減少傾向であり、平成29年は133億80百万円となっている。

漁業・養殖業部門別生産量の推移



海面漁業・養殖業産出額の推移



※海面養殖業産出額については、平成29年より種苗の産出額が計上されないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では連続しない。

生産量

| [平29]       | 全国        |        | 和歌山県 |      | 1位     | 2位 | 3位  |
|-------------|-----------|--------|------|------|--------|----|-----|
|             | (t)       | 実数     | 実数   | 順位   | シェア(%) | 県名 | 県名  |
| 海面漁業        | 3,258,020 | 18,801 | 28   | 0.58 | 北海道    | 長崎 | 茨城  |
| 魚類          | 2,690,005 | 17,481 | 28   | 0.65 | 北海道    | 長崎 | 茨城  |
| えび・かに・いか・たこ | 181,328   | 550    | 35   | 0.30 | 北海道    | 青森 | 兵庫  |
| 貝類          | 283,985   | 72     | 36   | 0.03 | 北海道    | 愛知 | 千葉  |
| 海藻類         | 69,969    | 513    | 13   | 0.73 | 北海道    | 愛知 | 青森  |
| 海面養殖業       | 986,056   | 2,661  | 24   | 0.27 | 広島     | 宮城 | 北海道 |

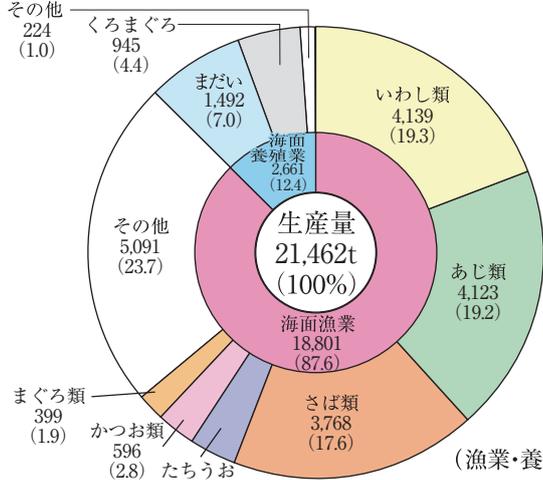
産出額

| [平29] | 全国      |       | 和歌山県 |      | 1位     | 2位  | 3位 |
|-------|---------|-------|------|------|--------|-----|----|
|       | (百万円)   | 実数    | 実数   | 順位   | シェア(%) | 県名  | 県名 |
| 海面漁業  | 962,690 | 8,462 | 26   | 0.88 | 北海道    | 長崎  | 静岡 |
| 海面養殖業 | 497,926 | 4,918 | 22   | 0.99 | 愛媛     | 鹿児島 | 熊本 |

## 4) 主な魚種別漁獲量・産出額の推移

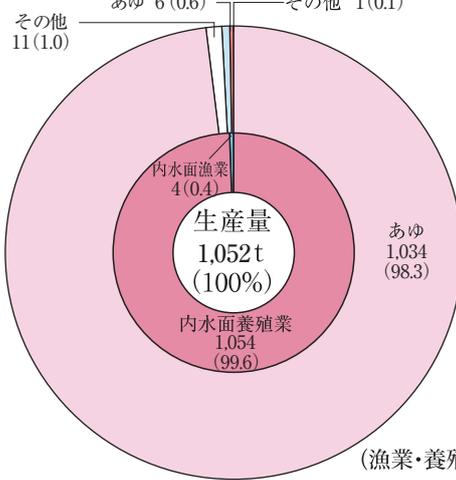
平成29年の魚種別の生産量は、海面漁業では、いわし類22.0%、あじ類21.9%、さば類20.0%、たちうお3.6%となっている。海面養殖業では、まだいが56.1%、くろまぐろが35.5%を占め、内水面養殖業では、あゆが98.9%となっている。

海面漁業、養殖業魚種別生産量（平29）



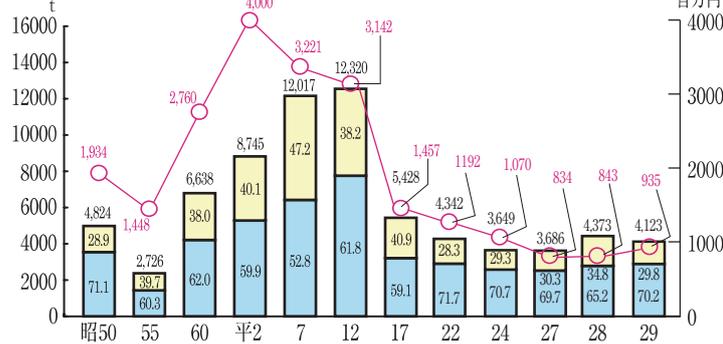
(漁業・養殖業生産統計)

内水面漁業、養殖業魚種別生産量（平29）

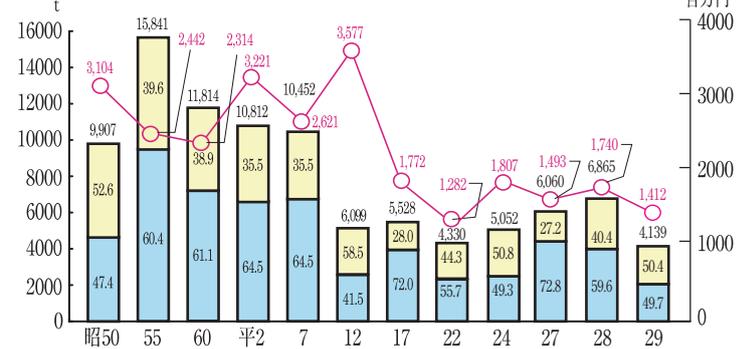


(漁業・養殖業生産統計)

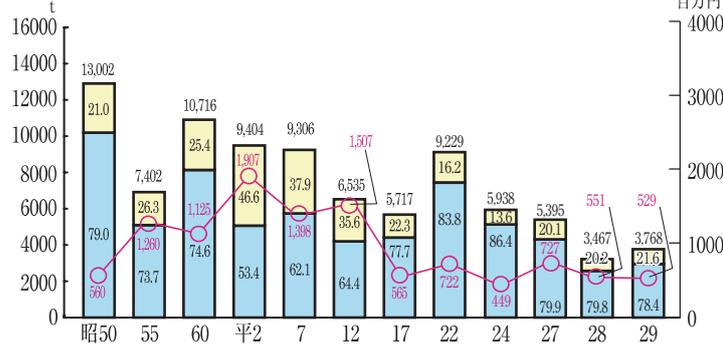
あじ類



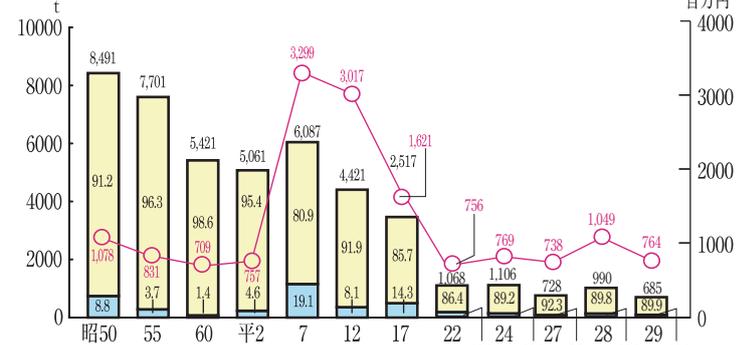
いわし類



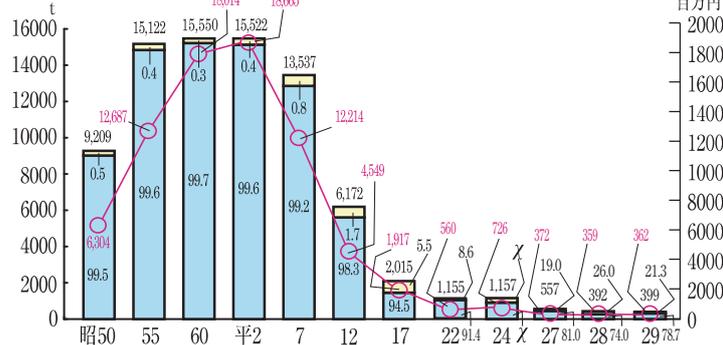
さば類



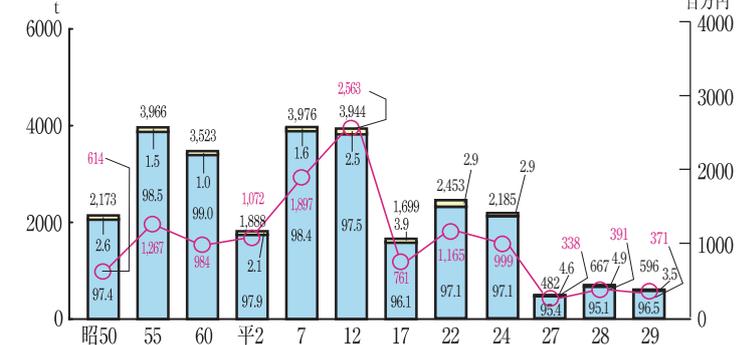
たちうお



まぐろ類



かつお類



漁獲量 瀬戸内海区 太平洋南区

産出額 (百万円)

※「X」は統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(漁業・養殖業生産統計)